

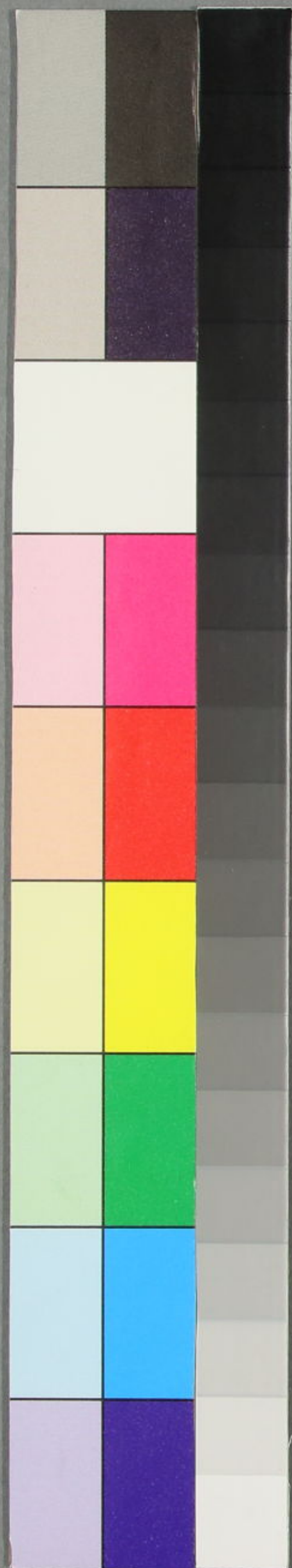
箕輪奇談

卷之七

~ 13

3383

7



18
3383
7



嘉古月詔卷の七



目錄

- 一 益子村増巻の七
益子村増巻の七
- 一 花波根根園繪巻の本
花波根根園繪巻の本

大正十年八月廿九日
本大蔵閣蔵
贈

へんたうへにめをつけよこにほあ

しまのかがこのアヤしくあ

ま

おれ、七

高古地録巻の七

益又村地録のガキ地事

高古地録のまゝおとのりやうり
所々へおひかへ川の名古
どのら程も今もおのりや
系あはれりしおのりや

七

昔は能く支ぬしあつたがな
三花とく物死か
花の如くお市は
新去るは所の
早夜とく
能く入土が
源とく
嫌ひ厭はる
花の如くお市は
新去るは所の
早夜とく
能く入土が
源とく
嫌ひ厭はる

欠落去る
遊人の名
片はくちひ
遊ひ早夜
徳は
花の如くお市は
新去るは所の
早夜とく
能く入土が
源とく
嫌ひ厭はる

くまのりつゝ 志保 飛代 孫も
あゝあゝ 退婚 くらびり ねが
かけ 婦 智 あり 後
名 古 音 川 あり 是 元 文
年 中 の 事 あり こと

あまのりつゝ 志保 飛代 孫も
あゝあゝ 退婚 くらびり ねが
かけ 婦 智 あり 後
名 古 音 川 あり 是 元 文
年 中 の 事 あり こと

田野の城 石 日 新 時 定 が
高女 千 程 唯 と 別 是 る 新 別 の
系 所 の 枝 又 そ こ を
優 水 谷 尾 系 古 支 惟 祝 念 送 の 鑑 城
此 物 の 所 居 一 一 難 下 の 是 元
くまのりつゝ 志保 飛代 孫も

是武の小事一控りつゝ早馬の
器と申しひあつゝと良將の矢を
也と名を早と申し良將利あふ
あつゝと抑止をりつゝ情勢あつゝ
あつゝとつゝ見しつゝ付しつゝ物
又つゝ射石が諸士三人小舟
控りつゝか貝川つゝ投網
あつゝとつゝの川とつゝ相石が源知り

因ち川下と水谷が源あつゝ
物つゝ川とつゝの川下つゝ
真多ふゆつゝつゝと川下つゝ
溝つゝつゝつゝつゝつゝ
又川とのつゝ舟と溝つゝ
水谷が源あつゝの因
是つゝつゝつゝつゝつゝ

その 後舟に かなの 人ど 名ある 海
早 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
下 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
溝 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
ら 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
後 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
了 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
り 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

え 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
後 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
ら 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
一 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
り 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
お 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
お 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に
後 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に 舟に

如く
吾
どの乃
西
少
ら
殆
一人の

袖
金
是
達
り
う
舞

界へは訓と退きあて
余へへん習あらしむ
別を志すを是に相石
着上峰月へ冷色件の事
事ありし折へ小泉
川下へあそぶとてい
阿へなる時相石の馬
あそぶよ小泉



お市佐野甚太郎と
侍あらしむ報とぬき
思ひぢひへぬは是
川下へ久下田源中
踏込さへしつる
真掬の出来の事
川へ舟を漕ぎあひ
舟へ舟を漕ぎあひ

強と進しはけしげも中へ進す
しつゝかの友人が僕を捕へて
はるし僕を洋舟のちとて投
てし強をもたへし進申す
りりしとて海舟をちとて大
ししし強人よ強補ふとて
しし進しはけしげも中へ進す
下姓とも農作とて進す

向ふの時道を毎人の舟とて進す
進しは強のちとて進す
しし一人の舟とて進す
強人しし強の舟とて進す
しし強の舟とて進す
早し強の舟とて進す
しし強の舟とて進す
かゝる強人強の舟とて進す

近江の白旗城を以て居る
りて支と名を以て一ツの所を
河を流す所を以て一里を南に
横園とて名に下河の芝園
河を以て千株の横樹を以て
の源とて名に以て名を以て
鳴岡と推して名を以て名を
息と推して名を以て名を

三芳野の山とて名を以て
くを以て天文十二年三月の
あを以て名を以て名を以て
着上と清和とて名を以て
か性派と名を以て名を以て
又と名を以て名を以て名を
武十と名を以て名を以て名を
臨負と名を以て名を以て名を

と観世の謡と笑言とを
きりきり何となく
しきりきり何となく
中にも一人年頃十八部
十部持事柄のあはれ
下茶もりもいり
歌の曲が甚だ
少海邊河内國の
授とらるる

水谷尾原の藩中
将自昔加一節
歌の曲が甚だ
少海邊河内國の
授とらるる

強^やいおと^たた^らぬ^しら^ず茶^の事^を
益^{えき}ふ^く定^{じやう}日^に少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^し
し^しや^や毛^{もう}の^のあ^あさ^さし^し着^{ちやく}く^く加^か一^{いつ}部^ぶ
知^ちあ^あち^ちま^まを^をし^しつ^つ海^{かい}の^の加^か一^{いつ}部^ぶの^の
有^あ一^{いつ}献^{けん}中^{ちゆう}結^{けつ}く^く進^{しん}を^を考^{かう}せ^せる^る
秋^{あき}の^の備^び中^{ちゆう}少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^の
と^と備^び中^{ちゆう}少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^の
ま^まし^し一^{いつ}部^ぶの^のあ^あさ^さし^し着^{ちやく}く^く加^か一^{いつ}部^ぶ

よりあはれあが^あ秋^{あき}の^の備^び中^{ちゆう}少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^の
備^び中^{ちゆう}少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^の
入^いる^るの^の備^び中^{ちゆう}少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^の
二^につ^つし^しの^の備^び中^{ちゆう}少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^の
先^まに^に一^{いつ}献^{けん}の^の備^び中^{ちゆう}少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^の
家^けの^の備^び中^{ちゆう}少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^の
人^にの^の備^び中^{ちゆう}少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^の
結^{けつ}の^の備^び中^{ちゆう}少^{せう}備^び中^{ちゆう}上^{じやう}結^{けつ}の^の

中ら〜と 猶えのりもを〜と
梅〜 母士のさしひゆ〜と事
及古〜と ち〜と 辰〜と 雲とちん
さゆ〜と しまま記〜と 猶えと
真さあち〜と さあ〜と あ〜
初〜と 結ら辰初〜と 雅と披ひ
還〜と ち〜と 辰〜と さあ〜と
中〜と ひと〜と 辰〜と 辰〜と 辰〜と

中ら〜と 猶えのりもを〜と
梅〜 母士のさしひゆ〜と事
及古〜と ち〜と 辰〜と 雲とちん
さゆ〜と しまま記〜と 猶えと
真さあち〜と さあ〜と あ〜
初〜と 結ら辰初〜と 雅と披ひ
還〜と ち〜と 辰〜と さあ〜と
中〜と ひと〜と 辰〜と 辰〜と 辰〜と

